山口和幸の「おすすめスポット走行編」

全長40.1キロ 筑波鉄道の廃線跡地を つくばりんりんロード

自転車でGO!!

茨城県・筑波山のふもとに茨城鉄道の廃線跡地を利用した全長40・1キロのサイクリングコース「つくばりんりんロード」がある。現在は全線が舗装整備され、かつてのホームはトイレ完備の休憩所となった。茨城県もサイクリストをサポートするプロジェクトを推進。親子でカップルの初サイクリングでも安心して楽しめる。2013年第一弾は子の魅力を余すことなくお伝えする。

岩瀬駅―土浦駅

茨城県桜川市にあるJR水戸線の岩瀬駅。かつてはここと、土浦市の土浦駅を結ぶ筑波鉄道があった。1987年に廃線となり、いまは自転車歩行者専用道路となっている。総延長は鉄道時代と同じ40・1キロ。幅は4メートルあるので、よくある河川敷のサイクリングコースよりもゆったりしている。

今回は最北端の岩瀬駅から南下ルートを実走した。北風が吹けば追い風になること、わずかばかりの下り基調であることがその理由。実際に走ってみるとかなりのスピードに乗る。ただしかつての踏切ごとに車止めの鉄柱が「止まれ」の標識があるので、ロードレーサーが高速で走るという道ではない。そのかわり車は通行できない安全なコースなので、たとえば長距離サイクリングに初挑戦するような子どもたちに向いている。

景色を楽しむのんびりサイクリングにも絶好。駅ホームが残ったり、沿道にも桜並木が続いている。春になれば菜の花も美しそうだ。お弁当を持ってベンチでお花見もできるだろう。

コースは暖ケ浦にそそぐ桜川にほぼ並行して走っているので、岩瀬側の標高がわずかに高いものの、見た目はまったくの平たん路だ。「冬でも雪がない」と地元の人が教えてくれた。真冬でも比較的走れる。しかも住復なら50キロ。

都心部からのアクセスもいいが、まだその魅力を知る人は少ない。いちど走りに行ってみては？

プラットホームが残る茨城休憩所前を走る山口記者を「らいんずれる茨城健」撮影

駅が休憩所

数キロごとに存在した駅は、現在休憩所となっている。駅舎はないが、ホームはそのままで、新たにベンチやトイレが設置されている。安全のため、初級者サイクリストにはうれしい。それぞれの休憩所には無料の駐車場もあるので、クルマに自転車を積んで行き、そこを発着点としてサイクリングするのがおすすめ。

筑波山へ寄り道

コースのちょっと真ん中にある筑波休憩所は周囲にコンビニや飲食店もある。コースを外れて東に進むと筑波山へのアプローチとなる。筑波山梅林の中を走る林道は一見の価値あり。2―3月が見ごろとなる。

今回の実走取材日時をあらかじめツイッターでつぶやいておいたので、これを読んだ多人のサイクリストが応援に訪れてくれた。栃木県栃木市のmoritiさん、群馬県館林市のUmekoさん（ともにハンドルネーム）。自宅からコースまで片道80キロ。あいにくの雨の中を「一緒に20キロほど走って」とお願いしたら、「頑張ってください！」と帰路についた。ありがとー！（ツイッター）

クルマの心配なし!!舗装整備された自転車歩行者専用道路

景色も最高!!親子やカップルの初サイクリングにもってこい

走行時の注意点

つくばりんりんロードは歩行者も利用するのでスピードを出すのは控えたい。道路と交差する場所には車止めの鉄柱と「止まれ」の標識があるので、左右をしっかりと確認して横断しよう。一部には路面の「止まれ」の文字部分が陥没しており、細身のタイヤを取られて転倒する危険性もあるので細心の注意を払いたい。

サイクリストのオアシス

筑波休憩所からしばらく南下すると、つくば市の内町下交差点近くに「ピットストップつくば北条」がある。空気入れや工具、トイレが使えるだけでなく、サイクリング愛好家のコミュニティーとして情報交換の場としても活用されている。

地場のスローフードを使った日替わりランチはボリュームたっぷりで800円。白米に玄米をブレンドするのは復興支援の意味。宮城県石巻市の十三浜から取り寄せたワカメも使用。復興支援にも一役買っている。土、日、祝日の8時～17時営業。

笑顔で定食を用意するシェフの今井さんら

やきいもを頬張りながら有野さん夫妻、石原さん夫妻のアドバイスを聞く

サポートステーション

行政、NPO、企業がタッグを組んで「いばらきサイクルツーリズム推進事業」を展開している。内閣府の助成金を受けて、健康増進、事故の減少などに取り組んでいるというもの。県内各地に「自転車サポートステーション」を設置し、空気入れ、簡単な工具、トイレを提供。雨宿りや休憩所として利用できる。のぼりと駐輪ラックが目印。写真㊦は「自転車版ハイウエー」のような整備サービスも検討中。

バスツアーも!!

今回紹介したコースを含む1泊2日温泉つきというバスツアーが行われる。往復バス、1泊2食付宿泊に加え、2日目入浴&食事代、メカニック・給水&補食など各種サポート費用、各種イベント費用込み。参加料は1人1万2800円（宿泊4人1室利用）。アンケートや誌面露出協力の条件がある。問い合わせは「国際興業・サイクリングバスツアー」☎03（3273）2553

防寒ウエアで

冬場は冷たい季節風で体を冷やさないような防寒対策が必要だ。今回はパールイズミのウインターウエアを着用。問い合わせは「パールイズミ」☎0236（33）7556。「冬場の着こなし術」は次週掲載。